

作物統計調査

令和8年茶栽培面積（7月15日現在）

令和8年茶の栽培面積は、前年に比べ4%減の3万 1,900 ha

【調査結果の概要】

茶栽培面積は3万 1,900ha で、前年に比べ 1,500ha（4%）減少した。

表 茶栽培面積

区 分	栽培面積	前年との比較	
		対 差	対 比
	ha	ha	%
茶	31,900	△ 1,500	96

図1 茶の栽培面積の推移（全国）

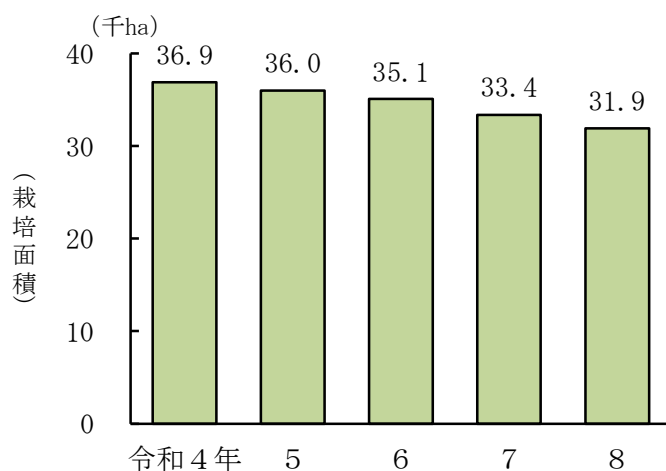
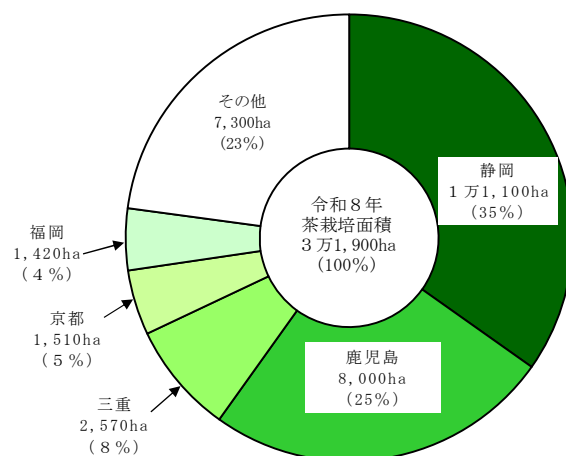


図2 令和8年茶の都道府県別栽培面積及び割合（全国）



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

○ 本調査は、5年ごとに全国を対象に調査し、全国調査以外の年においては主産県調査としており、令和8年は全国調査である。

なお、全国調査以外の年においては、主産県調査の結果に基づき、全国値を推計している。

○ 主産県調査の対象都道府県については、全国の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県及び畑作物共済事業（茶）を実施し半相殺方式を採用する都道府県としている。

◎ 累年データ

茶の栽培面積の推移（全国）

区 分	栽培面積
	ha
平成 29 年	42,400
30	41,500
令和 元	40,600
2	39,100
3	38,000
4	36,900
5	36,000
6	35,100
7	33,400
8（概数）	31,900

注：1 本調査は、5年ごとに全国を対象に調査し、全国調査以外の年においては主産県調査としている。

2 本表において、全国調査年は令和2年及び令和8年で、それ以外の年は主産県調査年である。

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040499291&ext=xls>

【 調査の概要 】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における品目ごとの生産量や作付面積等の KPI の設定及び検証のための資料
- ・ 茶に関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく畑作物共済事業（茶）の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「作物統計」の「面積調査」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y4>
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和 9 年 3 月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

茶関係ページ：農林水産省>組織別から探す>農産局>蚕糸・茶・薬用作物・こんにゃく・いぐさ（畳表）・その他>お茶のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680

（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

